

「中・高校生のための薬物乱用防止セミナー」 報告書

日時 : 令和5年8月18日(金) 14時00分～16時00分
場所 : 勝山公民館 3階 講堂
共催 : 下関市、下関市薬物対策協議会
参加者 : 約100名(市内中学生・高校生、学校関係者、薬物乱用防止推進員、
下関市薬物対策協議会関係者、市民)

1. 開会あいさつ

下関市薬物対策協議会 副会長 藤井 信幸

近年、大麻や一般用医薬品の乱用が若者を中心に増えており、薬物乱用をなくすためには、単に規制や取締りを強化するだけではなく、若者が薬物の恐ろしさや弊害について、正しい知識を持つことが大切であると挨拶。



2 「不正薬物乱用の恐ろしさと税関の水際取締り」

門司税関下関税関支署

税関の役割や不正薬物の特徴などをパワーポイントを用いて講演。都合の良い効き目の薬はないことや薬物に誘われたらその場を離れること、不用意に荷

物を預かるなどして「運び屋」にならないようにすること等呼びかけた。

その後、麻薬探知犬2頭による麻薬の臭いのする箱等を見つけ出すデモンストラクションが行われ、会場の生徒達も参加した。



3 「薬物依存からの回復」

NPO 法人 PLANET 北九州ダルク デイケアセンター

処方薬や覚醒剤など薬物の依存症からの回復について実体験に基づき講演。薬物依存のきっかけなどの経験談を通じて、薬物依存症は治らないこと、薬物は一度でも乱用してはいけないことを強く訴えた。

4 閉会のあいさつ

下関市薬物対策協議会 副会長 渡邊 利絵

発表した各講師への謝辞と薬物は身近にあること、何かあった際は助けを求める勇気を持つことが大切であることを話し、最後の挨拶とした。



○会場写真

